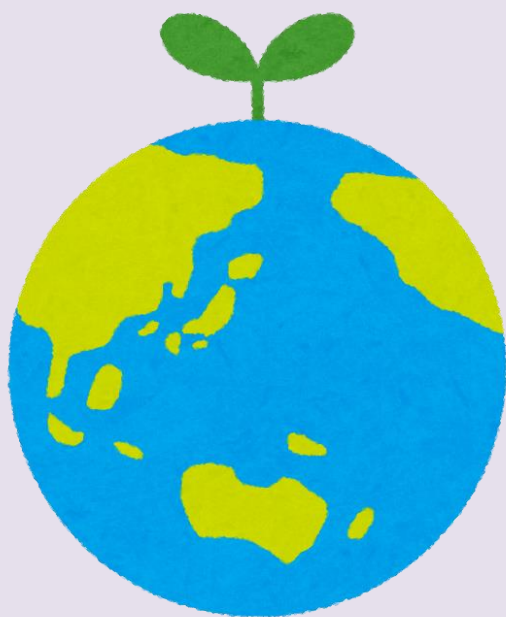


V 環境と調和し 安心して住み続けられるまち

温暖化対策推進事業（予算額：約4879万円）

2050年までにCO₂（二酸化炭素）の排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、脱炭素に関する相談窓口の設置や環境学習、太陽光発電設置等の補助金交付などに取り組んでいます。

※沖縄市ゼロカーボンシティ宣言：令和3年7月19日



V 環境と調和し 安心して住み続けられるまち

東部海浜地区開発事業（予算額：約2億947万円）

沖縄市泡瀬の沖合で整備が進められている人工島は、「潮乃森（しおのもり）」という地名になっています。

潮乃森では、県内最大級のビーチを活かしたまちづくりや、様々な土地利用によるにぎわい創出に取り組んでいます。

また、令和6年度はビーチを部分的に使えるようにするとともに、ビーチフェスタなどのイベントによる事業PRを図っています。



V 環境と調和し 安心して住み続けられるまち

交通拠点整備促進事業 (予算額：約1729万円)

国道330号沿道の胡屋・中央地区において、バスターミナル整備の実現を促進するため、市民や商店街、国、県、バス事業者などの方々と共に交通拠点のまちづくり計画に取り組んでいます。

このまちづくり計画では、バスターミナルを活用した、誰もが快適に移動しやすい、未来を見据えたまちづくりを目指しています。 ※下図はイメージ案であり、決定したものではありません。

